YJC
DIGITAL
YOUNG JUMP COMICS
11
SHUEISHA

くじ引き特賞：無双ハーレム権
Grand Prize: Unrivalled HAREM TICKET
11
原作 三木なずな（GA文庫／SBクリエイティブ刊）
漫画 長谷見亮
キャラクター原案 瑠奈璃亜

くじ引き特賞：無双ハーレム権
Grand Prize: Unrivalled HAREM TICKET
11
原作 三木なずな（GA文庫／SBクリエイティブ刊）
漫画 長谷見亮
キャラクター原案 瑠奈璃亜

くじ引き特賞：無双ハーレム権
Grand Prize: Unrivalled
HAREM TICKET
登場人物紹介
ひかり
エレノアの面影を残す少女。その正体は、カケルがエレノアを使い続けたことで生まれた二人の娘。意のままに魔剣の姿に変身できる。
エレノア
手にした人物を操る魔剣……のはずだが、カケルを乗っ取れずに彼の愛剣となった。カケルの意思に語りかける時やくじ引き所では、少女の姿になる。
結城カケル
『どんな能力も777倍』になるスキルを手に入れ、異世界に転移した少年。その能力を発揮して様々な事件を解決している。

前巻までのあらすじ

ごく普通の少年・結城カケルは、ある日、不思議な空間にあるくじ引き所で『どんな能力も777倍』になるスキルを手に入れ、異世界へと転移する。そこで様々な事件を解決する中、カケルはお金のやりとりや敵を倒すことで『くじ引き券』が手に入ることを知る。くじ引きで手に入れた新たなスキルやアイテム、そして美女との出会いや壮絶な戦い……充実した異世界暮らしを堪能するカケル。

シラクーザ王国の王家の血を引く姉妹、フィオナとマリを守るべく、クロポリス王国が占拠するシラクーザ領土へと踏み込んだカケルたち。そこに、難敵であるクロポリス四将軍が容赦なく牙を剥く！

777倍の能力を持つカケルの圧倒的なパワーと、成長した仲間たちの実力で蛮王チオザと剣王ミルトスを退けたものの、カケル不在のギホンの街に敵が襲撃してきたのだという。カケルの動向が敵にバレているのは何故だ……⁉　フィオナとマリの危機に、カケルは再びギホンの街へと急行するが——⁉

CONTENTS

Grand Prize: Unrivalled HAREM TICKET

11

目次

ギホンの街が襲撃された!?

第50話 王女誘拐!? ナナ・カノー、再起せよ!

前回の襲撃から半月も経っていないのにか…?

おれとテオが戻る

イオたちはここで待機していてくれ

行くぞ!

わかりました!

フォン

ゴオオオ

閣下(かっか)！お戻りになられましたか！
ニキ 無事だったか！
他のみんなは？ナナはどうした？
ナナ総隊長は…
ある…じ…
すまない…私のせいでマリ殿が…
ナナ!!
フラッ
何があったんだ？落ち着いて話せ

ポワ
白

昨日の正午ごろ…
クロポリス軍の襲撃に遭ったのだ
その数…
約一万…

一万!?

おれたちがミルトスに襲撃されたのと同じくらいの時間だな…

クロポリス軍は現在勢力を全て注いでおれとフィオナとマリを亡きものにしようとしたのか…?
…いや…おかしい
だったらミルトスもギホンの街の襲撃メンバーに加えたはずだ

私と親衛隊だけでなく今やクロム殿とミルコ殿がシラクーザ正規兵をまとめている

対して奴らは腕っぷしだけの寄せ集め…恐れるに足らず…

…そのはずだった…

ゴゴ
ゴゴ

ごきげんよう〜〜♪
シラクーザ王国の
みなさぁ〜〜ん♪

パァァァァ

あなたたちを
ぶっ殺しにきました

ナナ殿 あやつは
クロポリス四将軍の
ひとり…
ああ…
武王タナシ…
だったたな！

ミルコ殿
奥にいる
フィオナ殿と
マリ殿を頼む
コク

総隊長！
私たちも…
手を出すな！

あいつは強い！
今まで戦ってきた
戦士たちとは
まるで違う！
私がやる
お前たちは
ミルコ殿と行け！
は…
はっ！

長くて
綺麗な赤髪…
あなたが
ナナ・カノーね？
魔剣使いの
配下の中でも
最強と名高い剣士…

あなたは
どんな悲鳴を
ググッ
あげて
くれるのかしら？

変則軌道の斬撃か…
だが… 捌けぬほどではない

奴の攻撃は
離の間合いからの
長距離斬撃
こういう手合いは…
近づけばいいと
相場は決まっている！
ダッ

もらった!!

は・ず・れ♡

がっ……
間合いを詰めれば勝てると思った？

アタシ離れてなくても強いンだからァ♪
いくわよぉ〜〜！
柔刃剣舞(じゅうじんけんぶ)!!
!!

暴風斬(ウィラカーン)!!
ぐあああ

がっ……
こんな無茶苦茶な戦法があるとは…

そこだああぁ

!?
いない!?
ねぇ知ってた?この剣ってね
ビュッ
こういう使い方もできるの♪

柔刃剣舞(じゅうじんけんぶ)!!
血祭(カルナバル)!!!

ドシャァァ
トン
一丁あがりっと…♪

あの魔剣使いの部下だと
聞いてたからちょっと
期待してたんだけど…
とんだ思い違いだった
みたいね　ざ〜んねん♪

部下がこの調子なら
魔剣使いも
たいしたこと
なさそうね♡
…っ…！

さぁて…
王女ちゃんは
どこかしらん♪
ま…待て…
タナ…シ…
そこで
私の意識は
途切れた…

そして…
マリが誘拐
されたのか…
申し訳ありません
閣下…
私たちも
応戦したのですが…
力及ばず…
最後にタナシは…
あれを残して
去っていきました

親愛なる魔剣使い
王女を助けたくば
3日以内に
ヤーコン砦へと来るべし
さもなくば王女を殺す

カケルさん！ナナさん！

フィオナ！無事だったか

怖い思いをさせてすまなかった

ううん

ギホン防衛の任も果たせずこの体たらく…
マリ殿を奪われたのは…全て…私の責任だ…
すまない…本当にすまない…
ナナさん…

いつも痛くて
つらい思いをさせて
ごめんなさい…

いつも私たちを
守ってくれて
ありがとう…
本当にありがとう…！

もったいなきお言葉…!!

立て
ナナ・カノー！
何度敗れても
今以上に強くなり！
必ずや
勝利を掴む！
それが
お前の生き様
だったはずだ！

カケルさん
ナナさん
…お願いします

どうか…
妹を…
マリを助けて!

ナメた真似をしてくれたな
後悔させてやるぞ…武王タナシ!!

ギホンの街
襲撃から2日後

シラクーザ北部
ヤーコン

第51話
反撃！ 魔剣使いと誇り高き騎士！

あの捕虜が
シラクーザの王族なら…
俺たちの国を滅ぼした
張本人の血統…
ってことだろ？

もしタナシ様が
お許しになるなら…
俺たちがこの手で…！

…ん？
なんだ
あれは？

チャッ

ドドドドド

派手にブチかますぞナナ！

承知！

ゴッ
ドゴオオオオッ

敵襲！
敵襲だー!!
ゴォォォォ
防壁が…
壊され…!?
ジャリッ

ザッ

作戦も妥協もナシだ！
徹底的に捻り潰すぞ！

言われるまでもない！

いくよーっ！

御意っ！

おらあああああッ!!!
ぎゃぁああああああああっ!!
はああああああああッ!!!

はあああっ!!

雷撃(ライトニング)!!!

ガラ

ガラ

うわあああっ!!

ぎゃっ
ドガァアアア
ヒイッ
ドゴオオン
ぐわああああッ!!

ゴゴゴゴゴ…

よく来たわね～ん
魔剣使いちゃん!
逢いたかったわァ～♡

興味があるのはア・ナ・タだ・け♪

くくくっ モテモテではないか 貴様

そっちの趣味はないんだがな…

ドラゴンを葬り五爵の栄誉を与えられし英雄

魔剣使いユウキ・カケル

どいつもこいつもアナタが地上最強の戦士だと口にしているわ…

許せないわよねぇエエエエエエ!!

地上最強は!!

このア・タ・シ!!

武王(ぶおう)!! タナシ・アリアドネなのよォオオオオオ!!

ゴゴ
覚悟なさい魔剣使いィイイイ!!!
ッ
死ねえエエエっ!!!

ナナ
ビシッ
おれはマリを迎えに行く

え

タナシの相手はお前に任せる
ちょっ…
はなしっ
グッ
グッ

適当に遊んでやれ
そして飽きたら…
パッ

斬れ

魔剣使い
ユウキ・カケル
親衛隊総隊長
ナナ・カノーが
務める！

その油断…後悔するぞタナシ

あらそぉ？なら…

柔刃剣舞（じゅうじんけんぶ）

双頭の蛇（アンフィスバエーナ）

以前と動きが違う…!?
ならば…

キュッ
ギュルルッ

ぎゅるん

ミルトスの魔剣テレミア!?

どうしてアナタがその剣を持っているの!?

聖剣テレミア
主から賜った私の愛刀だ

第52話
邪を断つ剣閃、その名は聖剣テレミア!

主…
魔剣使い
ユウキ・カゲルの元で
鍛錬を重ね

多くの戦士たちを
束ねる者となり
今の自分に満足していた

十分に
強くなった…などと
勘違いしていたんだ

世界は広い
強者はいくらでもいると
何度も思い知らされてきたというのに……な……
主……
この剣は……
魔剣テレミア
正確には元魔剣だ
解呪は施してある
シラクーザ首都に
向かう途中で
おれはある男と戦い
その剣を託された

ナナ

お前以外には考えられない

親衛隊総隊長ナナ・カノーに命じる！
聖剣テレミアを使いこなしてみせろ！

明日の戦いだけじゃない…この先も！永遠に！
剣の道を極め続けるんだ!!

御意!!!

この剣には主と武人…そして多くの人々の想いが託されている

以前の私と同じとは思わないことだ！

ミルトスの奴
負けたのね
弱い奴が
負けた
アタシにとっては
ただそれだけの話
やぁねぇ
弱っちい奴
って
その慢心が
己を破滅に導くと
言っているのだ
タナシよ
何故わからん？
あら？
剣を変えただけで
アタシに
勝てると思ってる
アナタの方こそ…

慢心じゃないのかしらアアアアア!!
キュッ

フカアアアッ
ギャリン
まだまだアゲてく
わよォオオオオオ!!
ギ
ギ
ギ
ギ
ギ

ばかなっ
全ての攻撃がはじかれる…!?
魔剣…いや…聖剣テレミア…
私の意思や技量を感じとって形状や重量を変化させているのか
ギン
まるで剣自体が私の身体の一部のようだ
今まで以上に相手の攻撃が捌ける…!

このっ…
チョコマカと…っ！
なんで
当たらない…!?
ギャリッ
ギュン
ザシュッ
ぎゃっ！

言っただろう！
慢心が焦りを生み
やがては
己を滅ぼすと！

このアタシの…
顔に…傷を…

ナメるなよ
小娘がァ――!!

慢心してるですってェ？

慢心けっこうコケッコーよォ♡

これでお終い！
お死になさ〜〜い!!

柔刃剣舞（じゅうじんけんぶ）!!

血祭（カルナバル）!!!

いや！
虚勢を張るだけの
弱き心を
見せすぎた!!

枝垂払い!!
!?
剣を…
剣で絡めとる
ですってェえ⁉

ギュウウウ
バァアアアン
うそ…!?
アタシの…
剣が…!

負ける!?
あっ
このアタシが!?
ああ

この武王
タナシ様が!?
ああ
ああ
あ

カノー流抜刀術
剛の太刀
紅緋花!!

全ての
想いを背負い！
胸に刻み！
己が道を
貫く！

我が剣の道に
終わりなし！

まだだーーッ!!
!?
ここで戦いをやめたら…
また俺たちは虐げられる側に逆戻りだぞ!!

忘れたのか!!
シラクーザに故郷を追われた屈辱を!!
祖先の恨みを!! 悲しみを!!

マリ殿！

マリの決意を…な
クロポリス兵の皆さん…降伏してください
私たちは…新しいシラクーザは決して皆さんを悪いようにはしません
ふざけるな!!信じられるか!!
貴様らの祖先が俺たちに何をしたと…
知っています
!?

いえ…私もここに来てからミルコさんに教えてもらったんです

シラクーザ王国が過去に犯した**過ち**を…

私…は…ついこの間までただの平民でした…

世の中のこともよくわかってなくて今もまだ勉強中で…

でも！これだけは！

はっきり言えます!!

もう誰にも

死んでほしくない

降伏するよ
寛大な処置を頼む…

マリ…王女様…

いい女だ！

ギホンの街
第53話
希望の光、眼前に潜む闇を暴く!?

タナシとその部隊を
討伐したおれとナナは
無事ギホンの街へと
帰還した

だが
タナシの襲撃により
シラクーザ正規軍は
三分の二の戦力に
削られてしまった…
シラクーザ王国
奪還作戦は
再び暗礁に乗り上げて
しまったのだ…

…って
思うだろ？

ザッ
ザッ

彼らは…？
元タナシの部隊だった奴らだ マリが説得した
シラクーザを必ず正しい道に導く…と

ウオオオオ

シラクーザが…
またひとつに
なっていく…！
奇跡だ…！
すごい
光景だね！
うん
お姉ちゃん！
よかった…
本当によかった…
私が負けたせいで
シラクーザ軍は
もう駄目かと…
何言ってんだ
ナナ
お前は…
魔剣使い
ユウキ・カケル様！
聖剣使い
ナナ・カノー様！

シラクーザを導く真の英雄！
どうか我々にご命令を!!

――っ!?
あ…主！
どうして屋敷まで？
早くイオ殿と
合流を…
ナナ
主…？

……っ……

強くなった
お前を抱きたい

いいか？

コクリ

ああああああう♡
あっ…主…
カ…ケル…っ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
この部屋っ…♡
私が…はじめて…
あああああっ♡
あっ♡
ゾクッ
ゾクッ
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
あ♡
やだ…
おもいだす…
恥ずかし…っ♡

ナナ…
本当に
強くなったな
ギュッ♡
ギュウ♡
チュウ♡
あっ♡
あ♡
…いや…
もともと強い
心を持つお前に
強くなった…
なんて失礼だよな
悪かった…
ぱちゅ♡
そんなことはない
カケル…
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
私の心は
まだまだ未熟だ…
あ♡
あっ♡
あ♡

ああああああっ♡
カケルが
いないと…っ
折れそうに…っ
なる時が…
あるんだっ♡
ズンッ
ズチュ♡
ズプッ♡
ヌプ♡
ゾクッ
あっ
あっ
私は…まだまだ…
よわいんだぁっ♡
あっはぁあああっ♡
ズチュ♡
あっ
はっ
あっ
ズプッ♡
ヌプ♡
ブルン
プルッ

ナナ…っ！
お前の心が折れそうになるなら
おれが何度でも支えてやる！！
あっ♡
あっ♡
あっ♡
ささえっ♡
なってくれっ♡
私の心の支えっ♡
カケルぅ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡

ゾクッ
あっ♡
心に刻めナナ！
己の生き様を…覚悟を…これからも自分の心に刻むんだ！
ズチュ♡
ズプ♡
ズチュ♡
ブルン♡
あっ♡
はっ♡
あっ♡
それがお前の心の強さとなる！
勝利の証となるんだ!!
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡

カケルっ♡
おねがいいぃっ♡
あっっ♡
ビクッ
ビクビクッ♡
愛を…おぉおっ♡
愛を注いで
くれぇえっ♡
ドプッ♡
ビュルルルルル♡
ビュッ♡

ハァ…♡
ハァ…♡
ハァ…♡
主…♡私を信頼し戦いに向かわせてくれて感謝している
これからも最強を目指し精進する私の姿を見ていてくれ！

聖剣テレミア…か

この剣を持っていたミルトスとやらもさぞや強い武人だったのだろうな

剣王ミルトスの奇襲
武王タナシのギボン襲撃
二人の将軍による
同時刻攻撃は
おそらく偶然ではない…
おれたちの行動は
完全にクロポリス軍に
筒抜けだったんだ

もはや
疑う余地はない…
シラクーザ軍…
おれたちの軍勢の中に
クロポリスと通じる
裏切者がいる

そして
裏切者の情報をもとに
奸計を
巡らせていたのが…

四将軍
最後のひとり…

智王ヘロドトス！

ガチャ
デルフィナ！
ちょっと頼みが…

きゃっ！

でろーん

入るのなら
ノックくらいして
くださいまし！
徹夜明けか？
お疲れのところ
すまないな

調べものを…
お願いできるか？

……？

数日後――
ザワ
ザワ

ザク
ザク

まさか
これほどの志願兵が
集結するとはな

クロポリス四将軍のうち
三人が倒されたという噂が
シラクーザ全土に
広まったようです
それを聞きつけ
希望を取り戻した
シラクーザ国民が
次々と集まっている…
ということですな

ザッ

シラクーザ王国の各主要都市でクロポリス軍への大規模な反抗作戦が勃発し…

駐留していたクロポリス軍は王都方面への退陣を余儀なくされているとのこと

一万強ですななにせタナシの部隊のほとんどが我々の味方になったことが大きい

対して王都アドリアのクロポリス軍はおそらく一万五千ほど…

よし！決まりだな！この機を逃さない！

これより全戦力で王都に進軍！クロポリス王を討つ！

シラクーザ王国を取り戻すぞ！

私とマリも皆さんと一緒に連れていってください

なっ⁉
素晴らしぃ！御二人が大将として随伴すれば我が軍の士気もさらに…
馬鹿なことを言うなクロム！
⁉
………
フィオナ様！マリ様！どうか御自愛を！
御二人が戦場に向かう必要はありません！
いいえ

私たちは…なんの覚悟も持たずこの国に来てしまいました

シラクーザ王国の最後の血筋という重みも自覚しきれていないと思います…でも…

そんな私たちを優しく迎えてくれた皆さんの想いに報いたい…そして…

私たちがこれからも
シラクーザ王国の
王女として生きて
いくために…
この戦いを見届け
させてください！

これは…命令です!!

……!

テオさん
顔を上げてください

行くと
決めたのは
私たちです

一緒に…
この戦争を
終わらせましょう！

ありがたき御言葉…!!

な？丸く収まったろ？
フィオナとマリのあの目を見れば…な

ふむ…どれだけ長く生きても人間とはわからんものよ…
…で？貴様にも思惑があるのだろう？
カマかけは順調だな？

覚悟しておけ

智王ヘロドトスーー！

HAREM TICKET

Grand Prize:Unrivalled

くじ引き特賞:無双ハーレム権

誰も会ったことがない…だと？

第54話
牙を剥く裏切者！ 悪夢の呪術、再び！

はい
ヘロドトスですよね？

自分もクロポリス軍の戦略戦術司令官だと聞いていただけで
直接会ったことは…

ホホ
それにタナシ様はああいう方でしたから本部からの戦術指令は全く聞かなかったので…
オホ
は…はは…

だが
チオザは拠点防衛
ミルトスは奇襲作戦の
指令を受けていたよな？
はい…ですが
ヘロドトスが
直接指令を
伝えにきたことは
一度もありません

我々は
伝令を受けて
従っていた
だけです

手がかりなし…か

ねえ
ひょっとして…
ヘロドトス
なんて人物は
存在しないのでは？

えっ!?
そんな…
まさか…!?
いや…あるいは…
ヘロドトスはクロポリス王国にいない…
ずっとシラクーザ王国にいるとしたら…
例の
調べものの
結果は?
これが現在
ユウキ・カケル親衛隊に
所属している者の
履歴です
出身国や職歴
犯罪歴なども
全て見直しました

200人近い
親衛隊の履歴を
数日で再調査したのか？

あら？
わたくしの諜報能力を
あなどらないで
くださいな

材料は全て揃ったな
これでようやく
炙り出せる

獅子身中の虫を……
な……

シラクーザ
王都アドリア南
ユフラテス高原
ユフラテス河
野営地 夕刻

よし！
全員揃ったな！
明日に備えて
準備を始めよう！

イオの部隊はミルコと一緒に武器弾薬と消耗品の確認を
はいっ
任しとけ！

ナナはクロムの部隊と一緒に野営地周辺の哨戒にあたってくれ
はっ
虫一匹見逃しません！

一番隊は交代で王女様の護衛にあたるであります！
よろしくねニキさん

ザッ

決戦は明日だ！王都を取り戻すぞ！

オオーッ!!

ザッ
ザッ
お疲れ様です
王女様にご用で
ありますか？
御二人とも
就寝中です
お静かに
スッ

ドスッ

ガッ

そこまでだ！

はい
おつかれさん
ポン
ポン

タニア
ペギー
囮は完璧だったぜ
ご苦労さん
!!

テオさん!!!
嵌められた…
というわけですな
私は…
お前には散々
してやられたからな
ようやく一本
返せた気分だよ
テオ
いや…

クロポリス王国
四将軍
智王ヘロドトス！
!!?
テオさんが…
クロポリスの…？
さすがはカケル殿…
そこまで
お見通しでしたか
最初に違和感を
覚えたのは
ミルトスの襲撃だ
ミルトスは
隠密行動中の
おれたちを
ピンポイントで
襲撃してきた

この時点で
おれたちの中に
裏切者がいることは
容易に想像できた
そして同時に
もうひとつの
疑問が浮かんだ

なぜ
ヘロドトスは
ミルトスを使って
おれたちを
襲撃したのか？
おれが
ギホンを離れた隙に
フィオナとマリを
タナシに襲撃させる…
それはわかる
だが遠く離れた
おれたちを
襲う必要は
ないはずだ

それはなぜか…？
答えはひとつ…

そのための
ミルトスの襲撃…

つまりミルトスは
時間稼ぎに
使われたんだ

もしタナシが
マリの誘拐ではなく
殺害を選んでいたら…
完全に詰みだったよ

その通り…
タナシの阿呆が
貴方と戦いたいという
気まぐれを起こさなければ
全て終わっていたはず…
本当に
残念でした…

さて…裏切者は
おれがワープを使えると
知っている人間…
これでだいぶ正体を
絞ることができた
事件前に結成した
親衛隊に紛れた誰か…
あるいは…
この戦いで知り合った
シラクーザ王国の
指揮官の誰かだ

そこで
デルフィナに頼んで
親衛隊200人の素性を
徹底的に
洗ってもらった
結果は
シラクーザや
クロポリスと
縁のある者は
ひとりもいなかった
…シロだ

残りはテオ クロム ミルコの3人…
おれは今日わざと暗殺の隙を見せることにした
決戦前夜…仕掛けるタイミングは今しかないからな

私はヘロドトス!!

ブチッ

クロポリス王国のヘロドトスだ!!!

生命簒奪（ライフストレイン）
獣化（ザ・ビースト）
!?
ギュン
ギュン

神聖魔法777倍！

聖大渦(ホーリーストリーム)!!!

ぐっ……
術が不完全に……!!
ズズズズ

テオ…いや
ヘロドトス！
なぜシラクーザに
敵対する！

父は私が
産まれる前に
シラクーザの役人に
斬り殺された!!

贈賄の要求を
拒んだという
くだらない理由で!!

母は
私が五つのころ
過労死した!!

幼子ひとり
育てることすら
命がけな環境で!!

この右目も…
酔っ払った
シラクーザ兵に
蹴り潰されました
今もその兵士の顔を
覚えています…
まるで害虫でも
踏んでしまった
かのような
嫌悪や侮辱の視線…
幼いながらに思った…
こんな国は間違っている…
滅ぼさねばならぬと!!!
間諜として30年間
シラクーザで過ごしたが…
この憎しみが
消えることはなかった…
むしろ
シラクーザ人の
幸せそうな暮らしを
見るたびに思いましたよ…

その幸せがどんな犠牲のもとに成り立っているのか!!
貴様らは知っているのか…と!!!

シラクーザ王族は国の象徴的存在…
御二人には…死んでもらわねばならぬのです

やらせると思うか？

この場では無理でしょうな…しからば…

この場は
撤退させていただく
わずかに延びた余生を
謳歌するがいい…

御二人と
もう少し早く
出会えていれば……
あるいは……私も……
アアア
おさらばです
次は…地獄で…
ヒュッ

奴め…生命簒奪(ライフストレイン)を使ったな
ああ…カランバ王国やコモトリア王国と同じだクロポリス王国の背後にも魔族がいる…

それにしてもあやつ妙な捨て台詞を残していたな
真の恐ろしさ…かまだ何か奥の手が…

まさか…！

河の向こうより
何かが接近中!!

なんだ…?
あれは…
鳥…?

!?

くじ引き特賞：無双ハーレム権⑪（完）

はぁ…

どうしたの？お姉ちゃん

描き下ろし
ほろ苦い……魔剣エレノアが結んだ絆!?

じゃあいっそのことお姉ちゃんもエレノアを持ってみればいいんじゃない？
カケルさんは助けてくれるだろうし…
なるほど！

40度の高熱にうなされてる状態で全力ダッシュして全身筋肉痛になっちゃったみたいな感じかな…
うーん
うーん
ぜーはー
ぜーはー
ピク
ピク
めちゃくちゃつらいのな…！

ククク…面白くなってきたぞ!!
絶対さわらせないからな
でも…フィオナの副作用ってなんだろう?
食欲?
あーん
性欲?
どっちでもよいわ
ちなみに睡眠欲だったそうです

謝　辞

原作：三木なずな

第11巻を手に取ってくださって本当にありがとうございます！
今回はナナが大活躍する巻のお届けとなりました。
原作でもカケルをのぞいて最強、現地人では最強な立ち位置の彼女が活躍する回は、自分も見ていてとても楽しいです。今後も度々活躍する子ですので、これからも応援よろしくお願いします！

漫画：長谷見 亮

この度は『くじ引き特賞：無双ハーレム権 11巻』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます！
原作の三木なずな様、キャラクター原案の瑠奈璃亜様、集英社ダッシュエックス文庫編集部様、GA文庫編集部様、ニコニコ漫画様、単行本デザイナー様、表紙カバーを彩色してくださった大木亜美様、いつもお世話になっております！ 編集さん、今回もお世話になりました！
そして、読者の皆様！ 応援していただき、ありがとうございます！
クロポリス四将軍も残すところあとひとりです！
次巻でまたお会いしましょう！

くじ引き特賞:無双ハーレム権

11巻

三木なずな

長谷見亮

瑠奈璃亜

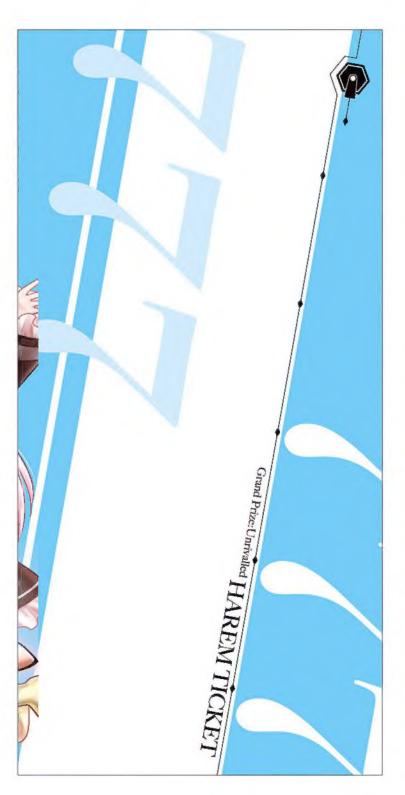
初版発行　　　　2025年
デジタル版発行　2025年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

EXTRA PAGES

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。